

京王電鉄バスグループ/ 西東京バス 『第5回グッドドライバーズ コンテスト』を開催

〈開催日〉6月2日(日)

〈会場〉東京都羽村市 日野自動車お客様テクニカルセンター

東京都の西部地域を中心に人々の暮らしを運び、支え続けている京王電鉄バスグループ(京王電鉄バス株式会社、京王バス株式会社)と西東京バス株式会社。両社は、輸送の安全性とサービスのさらなる向上を目的とした『第5回グッドドライバーズコンテスト』を開催しました。

コンテスト開催に先立ち、京王電鉄バスグループの宮坂周治代表取締役社長から「私たちの使命は、お客様の命を預かり、そして安全・安心、快適さを提供していくことです。そのために、どのような技術が必要で、どう磨き上げていくのか、それを再確認する場としていただければと思います」



たこつば競技では、適切な判断とハンドル操作が求められました。

と挨拶。コンテストでは、学科テストや運行前点検、特設コースを使った運転実技、車内での接遇マナーなどを実施。各社から選抜された17名の選手は、優勝を目指し日頃の業務で培った技能を披露しました。競技終了後、西東京バスの浜田丈夫代表取締役社長は「乗務員という仕事に誇りを持っている皆さんが、業務の中で培ってきた技術を発揮している姿を見て、誇らしく思いました」とコメント。

これからも“お客様を安全・快適に目的地までお運ぶ”ことを使命に、日々研さんに励み公共交通の役割を果たしていきます。



コンテストの開会式で挨拶をする京王電鉄バスグループの宮坂周治代表取締役社長。



緊張感漂う中、交通ルールをはじめ幅広い分野から出題された学科テスト。



点検競技では、日常点検で欠かせない項目を迅速・確実な手順で確認。



審査員が同乗し、接遇マナーをチェックする模擬運行。



グッドドライバーズコンテストを終えた選手と開催者の皆さま。